



■建物概要

計画地：品川区東品川三丁目
30番15号
用途地域：準工業地域
防火地域：防火・準防火地域
高度地区：第三種高度地区
主要用途：中学校
構造：鉄骨造
規模：地上5階建て
建物高さ：約25.9m
敷地面積：約7,400㎡
建築面積：約2,770㎡
延床面積：約9,840㎡

■コンセプト

1. 地域と共存する学びの場

- 品川シーサイドの街並みに溶け込み、東海中の校訓である「誠実・規律」を感じられる色彩計画およびボリューム計画とします。
- 校舎配置や屋根形状を工夫し、近隣への日影の影響を最小限に抑えます。
- 校内に明確なセキュリティラインを計画することで、地域への開放性とプライバシーを両立した、安全・安心な学校とします。

2. 多様性とウェルビーイングな学び舎

- 3階普通教室エリアの中心に多目的スペースを設けることで、廊下と一体的に利用できる多様性のある空間を計画します。
- 校庭に隣接した大きなピロティを設け、天候に左右されずに利用可能な交流・活動空間を計画します。
- 幹線道路側にボリュームの大きい体育館を配置し、防音壁として機能させることで、静穏で落ち着いた学習環境を確保します。

3. コンパクトな計画で工期短縮とコスト縮減

- 仮設校舎を設けない計画とすることで、工期短縮や建設コスト縮減を実現します。
- 普通教室と特別教室を集約配置し、明快な動線計画とすることで、無駄のないコンパクトな建物とします。
- 構造種別を鉄骨造とし、効率的な施工計画とすることで、全体工期の短縮を図ります。

4. 環境にやさしく、災害に強い学校

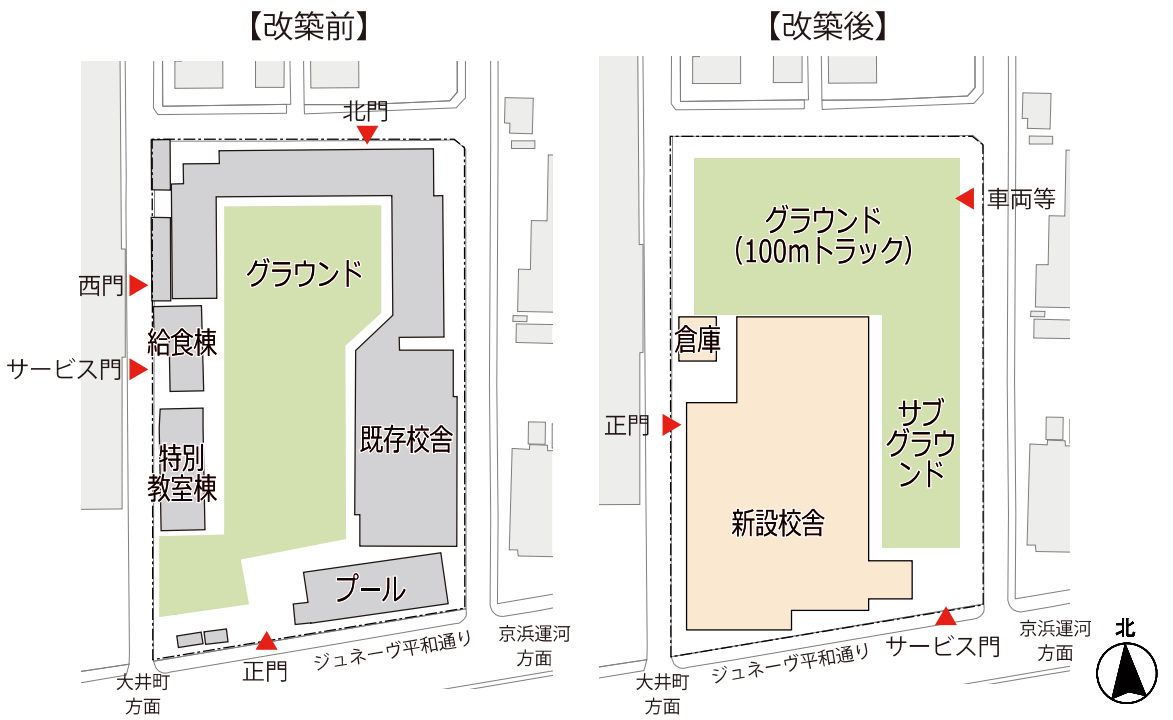
- 高断熱化、日射遮蔽、自然エネルギーの活用や高効率設備の採用により、環境負荷の低減を図ります。
- 大地震や大雨等による災害時に、避難所として十分に機能を果たす構造・設備計画とします。
- 災害後の段階的な学校再開を見据えた、柔軟性のあるセキュリティラインを計画します。

※配置、レイアウト、規模は今後の詳細設計および所管行政庁の指示により変更が生じる可能性があります。

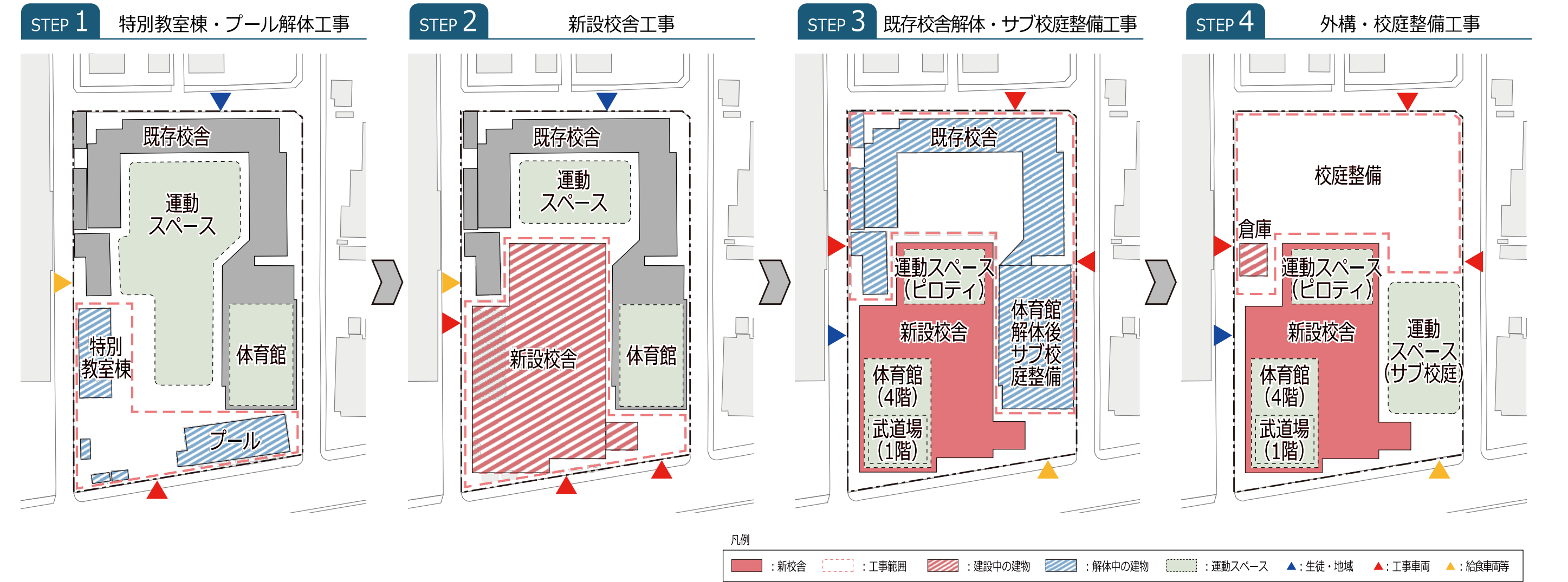
■建物概要比較表

		既存校舎	新校舎
延床面積		約 6,100 ㎡	約 9,840 ㎡
建物高さ		約 17.2m	約 25.9m
構造		鉄筋コンクリート造	鉄骨造
階数		地上 4 階建て	地上 5 階建て
普通教室		11 室	15 室（+多目的室 3 室）
特別支援	学級	—	2 室
	教室	—	1 室
	プレイルーム	—	1 室
	校内別室	1 室	1 室
学習室		3 室	4 室（分割時最大 5 室）
多目的ホール		—	1 室
特別教室		11 室	9 室
体育館		約 558 ㎡	体育館 約 700 ㎡ 武道場 約 290 ㎡
プール	コース	4 コース	5 コース
	プールサイド	約 130 ㎡	約 265 ㎡
	特記事項	—	屋上設置、屋根・稼動床なし
グラウンド		約 2,700 ㎡	グラウンド 約 2,000 ㎡ サブグラウンド 約 870 ㎡

■建物配置比較図



■建替計画



■建替工程

